

# 医療レーザー脱毛の合併症について

細心の注意を払って施術を行っても合併症のリスクは存在します。

医療脱毛で起こりうる主な合併症は、①熱傷 ②毛嚢炎 ③アレルギー反応 ④硬毛化です。

## ①熱傷

皮膚に、ヒリつき・赤み・水ぶくれが出現します。

極度の日焼けをしている場合や、お肌の色素沈着が強い(色が濃い)場合にやけどのリスクは高くなります。

制汗スプレー・化粧水・日焼け止めもやけどのリスクが高くなるので、照射部位には使用せずにご来院ください。

## ②毛嚢炎

毛穴に一致してかゆみのない膿をもったニキビができます。

ニキビのできやすい方、汗かきの方、太りすぎの方などは、できやすい傾向にあります。

## ③アレルギー反応

熱変性した毛に対するアレルギーで、脱毛数日後より、かゆみを伴う毛穴に一致した赤みがでてきます。

## ④硬毛化

脱毛を受けている最中に、通常毛が薄く細くなっていくところ、逆に毛が濃く太くなっていく症状をいいます。

この硬毛化のメカニズムは不明です。特に二の腕、うなじ、フェイスラインに出現しやすく、

脱毛レーザーを受けた方の5%程度に出現すると報告されています。

## 症状が起きた場合

①②③の症状が起きた際には、**すぐに診察を受けて下さい。**

④については、当院では硬毛化が比較的生じにくいといわれている

蓄熱式レーザーで照射しております。それでも硬毛化が生じる可能性はゼロではありません。

硬毛化に対する予防法・治療法は現時点ではありませんが、

追加で照射を行うことで改善する場合があります。

当院では硬毛化を確認した場合、医師の診断から1年以内に限り、2回の追加照射を無料で行います。

## ●医療レーザー脱毛を受けた後の注意

- ① 当日のシャワー浴はかまいません。  
湯船に入ると痛みを感じる場合があるので、翌日からにしましょう。
- ② レーザー照射部は、熱いお湯で洗ったり、タオルでこすったりしないようにしましょう。
- ③ レーザー照射後2週間は、摩擦の強い衣類の着用は避けて、日光にあてないように遮光してください。
- ④ レーザー照射部に、赤み、ひりつき、水ぶくれ、湿疹、ニキビなどができた場合は、医師の診察を受けて下さい。  
(表面の医療脱毛レーザーの合併症についてをご参照ください)
- ⑤ レーザー照射部位の毛が抜け始めるのは2～5週間後からです。
- ⑥ 次の照射までの間、気になる方はカミソリでのお手入れはしていただいて構いません。  
毛抜きで抜いたりはしないでください。
- ⑦ 次回の施術の際にも、前日には必ず剃毛してご来院ください。